

臨床腫瘍多職種研修会開催報告

山口大学医学部附属病院
腫瘍センター事務局

令和7年10月8日（水）に、山口大学医学部附属病院腫瘍センター主催で、臨床腫瘍多職種研修会が、山口大学医学部霜仁会館で開催されました。本研修は、院内のがん医療に携わる医師・薬剤師・看護師・MSW等の医療従事者を対象とした臨床腫瘍に関する研修会で、多職種50名の参加がありました。

本院腫瘍センターの井岡准教授の司会のもと、「セントヒル病院における認定看護師の活躍について」と題して、セントヒル病院理事長の浜辺崇衣先生、看護部長の西村淑乃先生、がん薬物療法認定看護師の友末和子先生にご講演いただきました。

研修会では、セントヒル病院での認定看護師の活動内容、がん薬物療法認定看護師の資格取得までの道のり等を詳しくご講演いただきました。参加者からは、「他施設での認定看護師の活動状況や、県内・地域における認定看護師も役割や期待されていることが分かりました。」「認定看護師を他院へ派遣するという取り組みは、地域全体を底上げすることにつながると思った。」「認定看護師の必要性や繋がりが大切であることを改めて感じた。病院・医師・看護師が連携できていることを、研修会を通して感じる事が出来た。」など多くの意見が寄せられ、大変有意義な研修会となりました。

腫瘍センターでは、これからも医療従事者に向けた様々な研修会を計画していきたいと思っておりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

《研修会風景》

